



第471号

公益社団法人  
徳島県環境技術センター

発行

徳島市津田海岸町2-33  
電話 (088) 636-1234(代)  
FAX (088) 636-1122  
発行責任者 吉村 正  
編集者 原岡 艶 甲

## 第9回 定時社員総会を開催

徳島県環境技術センターは、5月27日(月)午後3時から徳島グランヴィリオホテルに於いて第9回定時社員総会を開催した。

総会には海野副知事や岩浅阿南市長ら来賓の方々にもご列席いただき、会員137名(委任状・議決権行使出席者含む)が出席して行われた。高橋副会長の開会の挨拶の後、吉村会長が「浄化槽が下水道と並ぶ社会インフラとしての存在となるためには、行政と業界が丸となって既成概念にとらわれない浄化槽の施工・維持管理システムを構築していくことが必要である」と挨拶した。続いて、来賓の海野副知事、岩浅市長、徳島市長(代理 石川土木部長)、全浄連会長(代理 高橋専務理事)、長尾哲見顧問から祝辞をいただいた。

その後、来賓紹介、祝電披露と続き、議事に入った。

まず司会者から、本日の総会は、出席者137名(内訳出席者51名、委任状での出席者36名、議決権行使50名)で過半数を超えているため、成立することを報告した後、吉村会長が議長となり議事を進行した。

### 〈第1号議案〉平成30年度事業報告及び収支決算報告について

空保専務理事が事業について、川人理事が収支決算について報告した後、監事を代表して、長地監事が監査報告を行い、議長が議案の賛否につき、議場に諮った結果、満場異議無く原案どおり可決承認された。

### 〈第2号議案〉理事1名の選任について

今回の総会終了をもって、辞任の意向を示した川人理事の後任として、久米次長を理事に選任する提案を議場に諮った結果、異議無く承認され、久米次長の理事就任が決定した。

審議事項終了後、報告事項へと移り、令和元年度事業計画及び収支予算について、空保専務理事、川人理事がそれぞれ説明した。

議案がすべて終了した後、会員功労者の表彰が行われた。表彰された方はつぎのとおり

### 〈会員功労者表彰〉

- |         |                  |
|---------|------------------|
| 松村 圭悟 氏 | 桃井工業(株)四国営業所     |
| 小池 芳廣 氏 | (有)松栄工業          |
| 久積 修次 氏 | (株)ウォーターサポート久積   |
| 石村 純洋 氏 | フジクリーン工業(株)高松営業所 |
- 以上4名

### 〈事業従事者表彰〉

- |         |            |
|---------|------------|
| 東 義典 氏  | トーヨー化工(株)  |
| 太田 和宏 氏 | 徳島環境整備(株)  |
| 松尾 則男 氏 | 日の出工業(有)   |
| 原原 亜季 氏 | (有)光エンテックス |
| 中村 隆 氏  | (有)山田水道    |
| 松原加代子 氏 | (有)松原設備工業  |

以上6名

最後に、田原常任理事が閉会の挨拶を述べ、午後4時40分、第9回定時社員総会が終了した。



おめでとうございます。

## 令和元年度 吉村会長が 徳島県知事表彰受賞 徳島県の水環境保全に貢献

令和元年6月3日、徳島県庁講堂において、令和元年度徳島県表彰式が執り行われた。

本年度は、個人61名(寄付2人含む)と5団体が知事から直接表彰状を授与され、当センターからは吉村会長が、浄化槽を通じ、徳島県の水環境保全の向上に貢献したとして、知事表彰を受賞した。





令和元年5月27日に開催された定時社員総会において、承認された平成30年度の事業及び収支決算の主な内容は次のとおり

1. 事業報告

【公益事業関係】

法定検査については、7条検査2,686基、11条検査85,583基、合計88,269基を実施、前年対比584基増で計画対比99.2%となった。また、受検率は58.4%となり、昨年度より0.5%アップした。

機能保証登録数は1,551基で前年対比66基減であったが、申し立てが2件(漏水・嫌気濾材脱落)あり、それぞれ原因者不明により機能保証の対象となった。

浄化槽教室は2,202基を対象に40回開催、1,611名の出席があった。

省エネ型中・大型浄化槽システム導入推進事業では、4箇所で説明会を開催し60名が出席、交付申請は10件の申込みがありすべて補助対象となった。

また、環境学習は小学校を中心に実施したが、ほかにも地域で取り組む環境活動などに講師を派遣し、水環境に関する啓発を行った。さらには、ポスターコンクールや水すまし隊による海岸生物調査等、積極的に啓発活動を行った。

【収益事業関係】

計量証明事業は、2,735件、売上高34,487千円で、前年対比454件、3,309千円の増となった。PC底板は9,935千円の売り上げで222千円の減、その他、手かぎが1,740本、(2,145千円)、保守点検記録票1,629部(1,044千円)などの販売実績となった。

【法人部門関係】

5月に定時社員総会を行

い、常任理事会11回、理事会12回、を行ったほか、各地区(旧支部単位)で会員意見交換会を開催した。

2. 収支決算報告

収入の部では、検査手数料収入・分析手数料収入・受取補助金等が増え経常収益合計は573,366,956円となり、7,144,155円の増となった。

経常費用については、給与手当・退職給付費用・法定福利費・リース料などが増加したものの、通信運搬費・印刷製本費・事務所借り上げ費・検査用具費・減価償却費等が減少し、経常費用の合計額は569,162,454円で当期の経常増減額は4,204,502円となり、税引き後の当期正味財産増減額は2,903,202円で昨年度比2,876,152円増となった。

正味財産増減計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：円)

科目	30年度	29年度	増減
収入の部			
会費・入会金	6,013,500	6,010,500	3,000
検査手数料	498,656,000	495,051,000	3,605,000
機能保証登録料	3,966,000	4,124,400	-158,400
分析手数料	34,487,309	31,178,232	3,309,077
用紙・物品販売収入	4,904,174	5,169,240	-265,066
講習会収入	1,190,242	1,138,835	51,407
底板販売収入	9,935,568	10,158,048	-222,480
受託金収入	9,845,190	10,240,025	-394,835
他雑収入	4,368,973	3,152,521	1,216,452
経常収益計	573,366,956	566,222,801	増 7,144,155
支出の部			
事業費	561,817,863	557,782,952	4,034,911
管理費	7,344,591	7,605,599	-261,008
経常費用計	569,162,454	565,388,551	3,773,903
当期経常増減額	4,204,502	834,250	3,370,252
法人税等	1,301,300	807,200	494,100
当期一般正味財産増減額	2,903,202	27,050	2,876,152
当期 〃 期首残高	264,390,915	264,363,865	27,050
当期 〃 期末残高	267,294,117	264,390,915	2,903,202
正味財産期末残高	267,294,117	264,390,915	2,903,202

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科目	30年度	29年度	増減
資産の部			
流動資産	204,318,374	209,953,961	-5,635,587
固定資産	322,356,992	330,456,315	-8,099,323
資産合計	526,675,366	540,410,276	-13,734,910
負債の部			
流動負債	123,620,576	134,003,446	-10,382,870
固定負債	135,760,673	142,015,915	-6,255,242
負債合計	259,381,249	276,019,361	-16,638,112
正味財産の部			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	267,294,117	264,390,915	2,903,202
正味財産合計	267,294,117	264,390,915	2,903,202
負債及び正味財産合計	526,675,366	540,410,276	-13,734,910

## 浄化槽設備士試験 対策講座開催



6月7日・8日の2日間、センター4階会議室で「浄化槽設備士試験対策講座」が開催された。

この講習会は、7月7日(日)に実施される浄化槽設備士試験を受験される方を対象とした直前対策講座で、今年度で4回目の開催となる。

センター会員事業所の従業員並びに関係業者の計12名が受講した。株式会社ハウステック 住環境事業部 環境開発設計チーム 塚本 幸二氏が講師となり、受験勉強の進め方や、浄化槽の原理と構造や関連法規、これまでの試験の出題傾向を各分野ごとに分析し重要なポイントについて説明を行った。また、本番同様、過去問題を模擬試験として解き、その解答についても詳しく解説した。参加した受講生は、1ヶ月後に控えた本試験を前に、真剣に講義を受けていた。

県内でも高齢化等による浄化槽の資格者不足が深刻化しているが、センターでは、このような講習会を開催することによって、資格者の育成に繋がるよう今後も努めていきたい。



## 横須金磯海岸 |水|質|検|査|を|実|施|

海浜の清掃活動を通じて、美しい海を守る活動である『リフレッシュ瀬戸内』が今年も開催されるにあたり、当センターは事前の水質検査を実施した。

当センターは協賛事業の一環として、毎年海水調査の依頼を受け、今年5月13日に横須金磯海岸周辺の4地点で採水を実施した。



当日は天候にも恵まれ、サンプリングも順調に進み、海上での現地調査でも特に問題はなく終了した。測定項目は、ふん便性大腸菌群数・油膜の有無・COD・透明度・pH・病原性大腸菌O-157の6項目である。

なお、今回の水質検査の結果については、小松島市役所HPや広報誌に掲載される予定である。

## リフレッシュ瀬戸内が開催 センターからも多数参加

6月8日(土)リフレッシュ瀬戸内が、小松島市の横須・金磯海岸で開催され、今年もセンターから、会員・役員合わせて約70名が参加した。

このリフレッシュ瀬戸内は、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会が「受け継ごう きれいで豊かな瀬戸の海」をテーマに、毎年行っている清掃活動である。

開会式では濱田小松島市長の挨拶のあと、国土交通省、海上保安庁、海上自衛隊、徳島県県土整備部からの来賓挨拶が行われ、それに続き、当センター吉村会長が、この事業の対象となっている海域の水質検査を、センターの助成事業「環境保全推進助成事業」で実施したことを報告し、併せて、適正な浄化槽の維持管理による、水環境保全の協力を呼びかけた。

当日、徳島県地方は梅雨直前で天候が危ぶまれたが、早朝より太陽が顔を出す好天となり、約1,000名の参加者(主催者発表)が、初夏の日差しの下、清掃ボランティア活動を通じて清々しい汗を流した。

きれいになった海浜には、小松島漁協による、アサリの放流が行われた。(アサリには海浜の浄化能力があり、当センターの環境学習でも実験講座に取り入れており、その能力には期待出来るものがある)

清掃活動が終了した海浜は非常にきれいなものとなったが、それと同様、参加したセンターの関係者も皆一様に満ち足りた表情で会場を後にした。

なお、センターが実施した対象海域の水質検査の結果は、小松島市のホームページにより発表される。



# 環境月間特別エコ工作

## プラスチックごみを減らそう!

### ～レジ袋で作るコサージュ～

環境技術センターは、6月の環境月間に合わせ、「レジ袋など身近なごみを減らそう!」と6月9日、あすたむらんど徳島において、環境月間の特別エコ工作イベントを開催した。

今回のイベントでは、家で溜まりがちなレジ袋（ビニール袋）を活用し、花のコサージュの付いた髪飾りを手作りました。

当日は天候が穏やかで屋外で過ごすご家族が多い中、ふらっと屋内に入ってきた子どもたちが展示されたコサージュに惹かれて参加、来場者は1日で115名に上った。

一見、作成が難しそうに見えるため「本当に簡単なのか?」と訝しみながら参加し、実際に作り出すと丸く切って、花卉の部分にくしゃくしゃ揉んで、最後にマニキュアで彩るだけの簡単な作業のため、仕上げの色付けをする頃には自分オリジナルのコサージュを作るのに夢中であった。完成したコサージュを髪に付け



うれしそうな子どもたちの笑顔が印象的なイベントであった。

今、国では2030年までに使い捨てプラスチックの排出を25%抑制することを目標に掲げ、環境省は6月3日、レジ袋の有料化を義務化する考えを示した。

私たちも、このような大きな問題の解決に向けて、日頃から簡単にできること、例えば、マイバッグやマイボトルを持ち歩いて少しでも海洋プラスチックごみの元となるレジ袋等を減らすことを心がけたい。また今後も、このようなイベントを通じ、豊かな海を次の世代に残していくための様々な啓発に取り組んでいきたい。



# 水質計量便り

## ～ひまわりの秘密～

夏到来です。すでに6月には真夏日宣言され、「今年も猛暑になる見込み」との予報にも納得ですね。

さて、夏の花と言えば、あさがおやひまわりが思い浮かびますが、ひまわりの種には秘密が隠されています。

写真の通り、種は螺旋状にきれいに配置されています。もう少し詳しくみると、イラストでは線が中心から外側に向かって時計回りや反時計回りになっているのがわかると思います。



面白いことに自然界には規則的な現象があり、時には数学的美しさを持っていることも多く報告されています。

実は、ひまわりもその一つで、種の配列がフィボナッチ数列という数列と密接に関係しているといわれています。

具体的には、ひまわりの種はイラストのように、時計回りと反時計回りの配置を持ちますが、時計回りと反時計回りの線の数は絶対に、時計回りが21本の時反時計回りが34本、時計回りが34本の時反時計回りが55本、時計回りが55本の時反時計回りが89本となり、どんな大きさのひまわりでもこの3つのパターンしか存在しないそうです。

余談ですが、フィボナッチ数列の隣り合う比をとっていくと、黄金比に近づくそうです。

もちろん、ひまわりの種がフィボナッチ数列に支配されるのは意味があります。ひまわりの種の部分は円になっていますが、その円のなかに最も多くの種を配置できるのが、フィボナッチ数列となる並びなのです。種を多く保有し、子孫を多く残す自然の摂理なのでしょうね (# ^ #)。

by koizumi

# 事務局だより

## 法定検査のお知らせ

次の日程で法定検査を実施します。

### ○11条検査

日程：令和元年7月8日～令和元年8月9日  
地区：徳島市、阿波市、吉野川市、美馬市、つるぎ町

### ○7条検査

日程：令和元年7月8日～令和元年8月9日  
地区：鳴門市、小松島市、阿南市、美波町、牟岐町、海陽町

### ○那賀町検査(らくらくあんしん協議会)

日程：令和元年7月8日～令和元年8月9日  
地区：那賀町全域

### ○神山町検査(神山町きれいな水づくり協議会)

日程：令和元年7月8日～令和元年8月9日  
地区：神山町全域

